

ストップ! いじめ



いじめを しない! させない! ゆるさない!

いじめとは・・・

- ・相手からされたいやなこと、つらく苦しい気持ちになることです。
- ・いやなこととは、なぐったりけったりする、持ち物をかくす、わる口をしつこく言うなどがあります。また、なかまはずれや集団によるむしをすることなども同じです。
- ・いやなことを行った人が「軽くぶっただけ」「遊んでいただけ」と思っている、された人が「いやだな つらいな やめて欲しいな」と思っていれば、それは「いじめ」です。
- ・新型コロナウイルス感染症に関連した「うわさ」や「うたがい」「冷やかし」もいじめとなります。
- ・いじめは学校の中だけで起こるとはかぎりません。学校以外の場所で起こることもあります。



ひとりぼっちで、なやんでいませんか？

つらい思いをしていませんか

「やめて」と言い、先生や家の人に話してください。やめてくれない場合は必ず先生に教えてください。自分では「やめて」と言いにくい場合もあります。無理をせず、すぐに先生や家の人に話してください。

つらい思いをさせていませんか

あなたが言ったことやしたことが、相手にいやな思いをさせているかもしれないと、自分自身をふり返ってみましょう。もしやってしまったとしたら今すぐやめてください。そして友だちにていねいにあやまってください。

まわりにつらい思いをしている人はいませんか

友だちと協力して「やめようよ」と言って友だちを助けてあげてください。自分たちで注意しにくい場合は、すぐに先生に教えてください。

藤 沢 市 教 育 委 員 会

保護者の皆様へ

子どもたちは、学校でつらい思いをしていることを自分からはなかなか言えません。大人が気づいてあげることが大切です。日常生活の中で、子どもたちは様々な悩みや不安に伴うサインを、言葉や表情、仕草などで表しています。

いじめられている子どもがいれば、いじめられている子どももいます。我が子が「いじめられていないか」心配するのと同じように、「いじめられていないか」についても、目を配る必要があります。

子どもたちの、「いつもとちょっとちがう」サインに気づいたら…

いつもとちょっとちがうサイン

- 何となく子どもの様子がおかしい
- 学校や友達の話をしなくなった
- 朝、起きたときや登校時に身体の不調を訴え、登校をしづらくなった
- 衣服が汚れたり、ケガをしたりして帰ってくるのがよくある
- 食欲が落ち、眠れない日が続く
- 教科書や学用品に落書きがあったり、壊れたりしている
- 学校で持ち物がなくなることがよくある
- 部屋に閉じこもって、誰とも話をしなくなった
- 家庭から金品を度々持ち出すようになった
- 急に友達関係が変わった
- 買ってあげていないのに、持っているものがある

☆子どもの話をじっくり聞き、子どもの思いを受け止めてください。

☆学校（担任、児童支援担当、スクールカウンセラー 等）に相談し、学校と一緒に解決していきましょう。



いじめ等についての相談窓口

学校に相談しにくい場合は、以下のような相談窓口があります。

★藤沢市教育委員会いじめ相談ホットライン

TEL 0466-25-2500 9時～17時（土日祝日、年末年始は除く）

★藤沢市教育委員会いじめ相談メール

 **藤沢市 いじめ メール** **検索** 又は [二次元コード ]

藤沢市教育委員会のホームページのトップ画面「いじめ相談メール」からアクセスできます。



★藤沢市学校教育相談センター

TEL 0466-50-3550 9時～17時（土日祝日、年末年始は除く）

★横浜地方務局人権擁護課・子どもの人権110番

TEL 0120-007-110 8時30分～17時15分（土日祝日、年末年始は除く）

★神奈川県立総合教育センター 24時間子どもSOSダイヤル

TEL 0120-0-78310 24時間・365日 相談可能

TEL 0466-81-8111

★神奈川県警察少年相談・保護センター ユーステレホンコーナー

TEL 0120-45-7867 8時30分～17時15分（土日祝日、年末年始は除く）

★神奈川県福祉子どもみらい局 人権・子どもホットライン（子ども専用電話）

TEL 0466-84-1616 9時～20時

★スクールカウンセラー 在籍する学校にご連絡ください。

※ 自分のことだけでなく、困っている人のことも相談できます。



最近急増しているインターネット上のいじめは兆候が見えにくいため、パソコンや携帯電話、インターネット通信可能なゲーム機を使用する子どもについては、とくに保護者の方の注意が必要です。普段から、ご家庭において、お子様と一緒に、使い方のルール等について決めておくことも大切です。